

休眠預金事業 公募説明会



独り暮らし高齢者のための配食活動や会食会を運営する団体による日豪シンポジウム(1985)をきっかけに連絡組織を設立しました。会食会・配食・食育など“食”で支え合う活動の連絡会として、子どもや多様な世代が参加する食の居場所づくり推進に取り組んでいます。全国各地で食支援活動を展開する市民活動団体や産官学民のネットワーク形成を通じてあらゆる世代の豊かな食環境の整備・豊かな地域福祉社会づくりをめざしています。



プログラムオフィサー 大池 絵梨香

2016年4月より現職。2019年度通常枠「こども食堂等居場所のサポート機能設置事業」その他休眠預金事業の資金分配団体POとして、民間公益活動を行う実行団体への伴走支援、食を通じた居場所づくり支援活動に従事しています。社会福祉士。

全国食支援活動協力会とは



赤い羽根福祉基金



広がれ、こども食堂の輪！全国ツアー



1986年

高齢者配食サービス・会食会の連絡会組織として設立

2016年9月

「広がれ、こども食堂の輪！全国ツアー」事務局

2019年11月

休眠預金活用事業「子ども食堂サポート機能設置事業」



課題 1



子どもの貧困
(体験や経験、つながりの
貧困を含む) 社会的孤立

こども食堂等居場所の充実



課題 2



こども食堂等の
安定的な運営の確保

企業等からの寄贈食品の
物流・ストック・シェア



NEW

課題 3

少子高齢化に伴う「人口減少
社会」「地域格差」「中山間
地支援」などの地域課題

既存の地域福祉、まちづくり
推進に関わる機関との連携

全国食支援活動協力会が推進するプロジェクト



2016年9月「ながれ、こども食堂の輪！全国ツアー」を皮切りに、食を基盤とした多世代をつなぐ活動として、こども食堂支援事業を本格化させ、2019年4月から「こども食堂サポートセンター」を開設・運営。

子ども支援に関わる幅広い機関と連携しながら、各地の子どもの居場所づくりを支援。



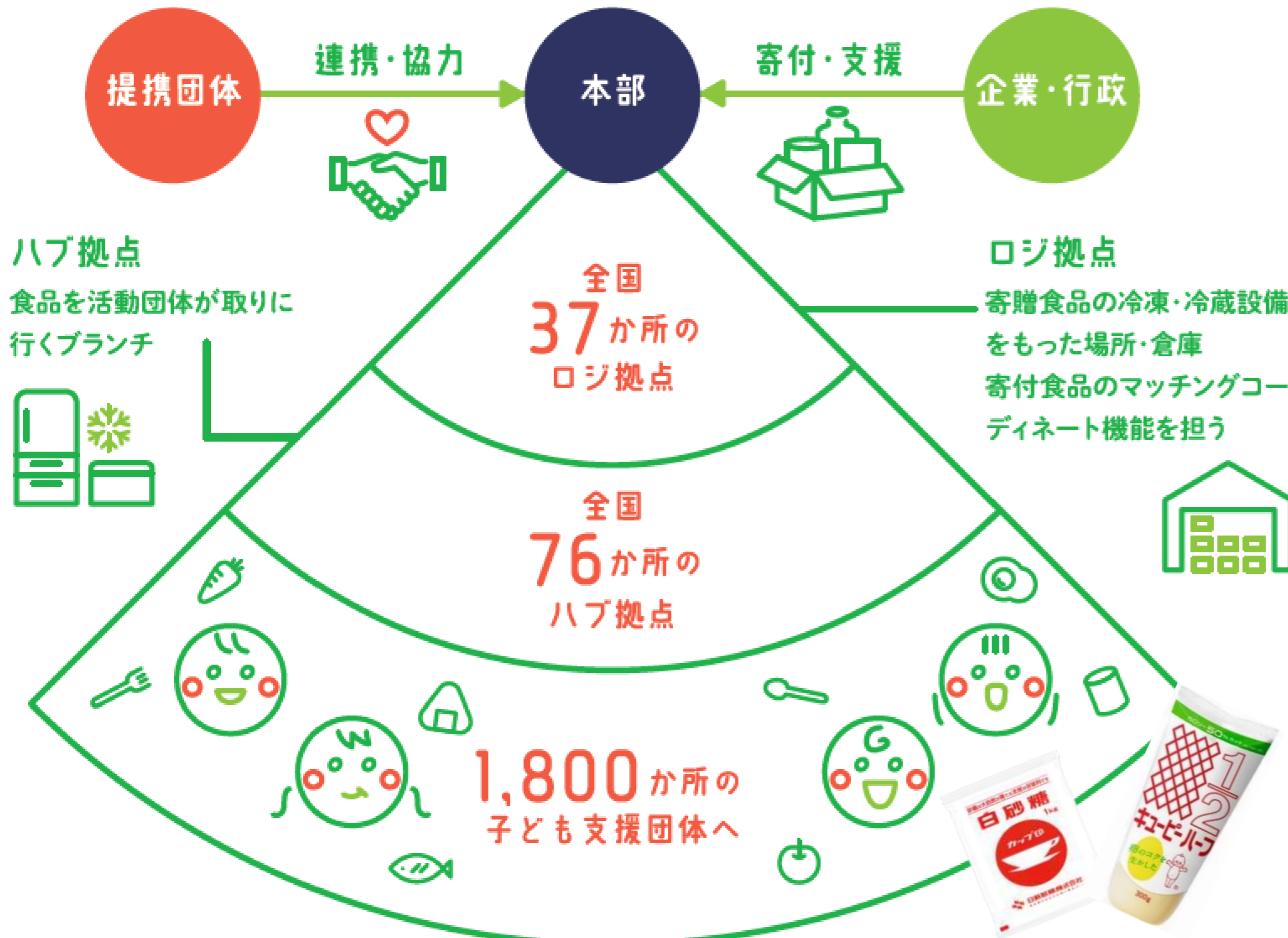
全国のこども食堂等の「居場所」に集う子どもから高齢者等すべての人が食事を得られる環境をサポートするシステム。

食支援を行う団体や自治体から、食品寄贈が受けやすいよう、冷凍・冷蔵設備を含む保管スペースをもつ拠点を全国に整備し、流通をサポートするWEBシステムの開発、企業・行政への学習会を開催。22年4月からは大量寄贈の受け入れを可能にするための物流支援プロジェクトを展開。

「ミールズ・オン・ホイールズ ロジシステム」 (通称:MOWLS)

参考資料

子どもから高齢者まで、全国のこども食堂等「居場所」に集う すべての人が食事を得られる環境づくり



- ✓ 寄贈食品活用により食糧費を削減、活動団体の運営費負担を軽減
- ✓ まとめて納品・荷受けすることで寄贈時の**配送費**と**調整負担**を軽減
- ✓ 小さいな団体も寄贈が受けられる環境整備



■ 事業名 多世代が食でつながるコミュニティづくり



■ 事業概要

対象者別制度や枠組みに囚われない食に関する居場所の機能及び地域住民のエンパワーメントに着目し、利用者と担い手を越境する「共助」モデルを創出する。本事業では居場所の伴走・中間支援機能を果たし、行政・企業・社協他まちづくり団体等との協働促進を担うほか、居場所に関わる既存の地域福祉人材（生活支援コーディネーター・地域福祉コーディネーター）が充実するための研修活動を広域的（複数市域）に行うことで、持続可能な居場所づくりのためのプラットフォームを構築する。

■ 実行団体

- 特非) ワーカーズコレクティブういず（千葉）
- 特非) U. grandma Japan（愛媛）
- 一社) いなかパイプ（高知）
- 特非) いるか（福岡）
- 一社) コミュニティシンクタンク北九州（福岡）
- 一社) ひとり親家庭福祉会ながさき（長崎）
- 社福) 青森県社会福祉協議会（青森）

想定する事業活動

相談支援
研修

食支援環境の整備
MOWLS推進

食を通じた
居場所

担い手づくり
関係人口の創出

情報発信
ニーズ調査

非資金的
支援

運営ガイドブック類の提供
モデル事例の紹介／研修開催支援
支援のルート開拓・企業との連携強化